

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2018年6月29日から2021年1月28日（当初：2024年5月24日）までです。	
運用方針	「Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンド Q-J2シェアクラス」への投資を通じて、主として世界各国のハイブリッド証券に投資し、インカムゲインの確保と投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。また、「CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）」にも投資します。分配金込み基準価額（基準価額（1万口当たり）に、設定来の分配金（1万口当たり／税引前）の累計額を加算した額をいいます。）が11,500円以上となった場合は、速やかに安定運用に移行した後、繰上償還します。ただし、分配金込み基準価額が11,500円以上となってから満期償還日までの期間が短い場合には繰上償還を行いません。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象	みずほ・アムンディ グローバル・ハイブリッド証券ファンド 2018-06（限定追加型／繰上償還条項付）	Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンド Q-J2シェアクラス CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）
	Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンド Q-J2シェアクラス	世界各国のハイブリッド証券
	CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時（年1回決算、原則毎年5月25日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

Amundi

ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

愛称：ネクストジャンプ
みずほ・アムンディ グローバル・
ハイブリッド証券ファンド 2018-06
(限定追加型／繰上償還条項付)

償還 運用報告書（全体版）

第3期（償還日 2021年1月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、2021年1月28日に信託を終了（繰上償還）し、償還の運びとなりました。ここに、謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン：0120-202-900（2021年6月30日まで）
03-3593-5911※（2021年7月1日から）
※通話料は有料です

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 証 比 率	投 資 証 券 組 入 証 比 率	純資産総額
(設 定 日) 2018年6月29日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 1,810
1期(2019年5月27日)	10,256	10	2.7	95.7	—	2,819
2期(2020年5月25日)	10,009	10	△2.3	0.1	97.2	2,517
(償 還 時) 3期(2021年1月28日)	(償還価額) 11,433.45		14.2	0.0	0.0	2,173

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

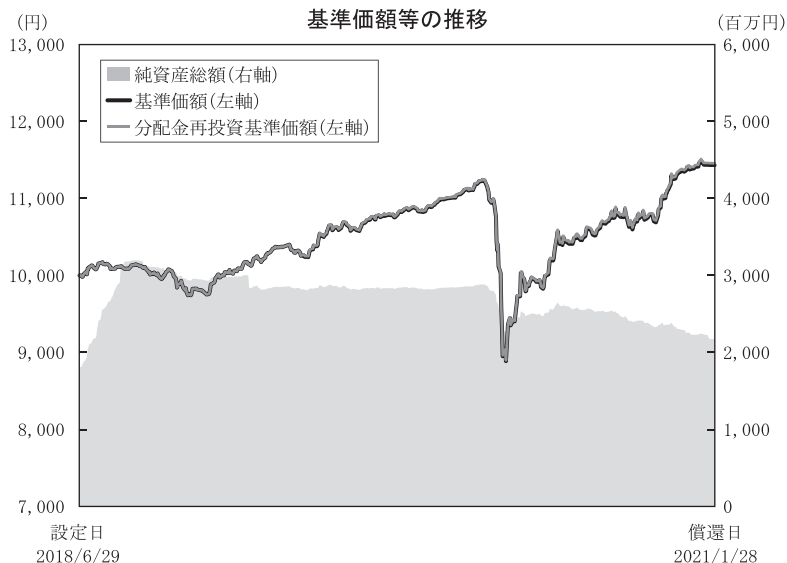
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 証 比 率	投 資 証 券 組 入 証 比 率
(期 首) 2020年5月25日	円 10,009	% —	% 0.1	% 97.2
5月末	10,207	2.0	0.1	98.9
6月末	10,413	4.0	0.1	97.7
7月末	10,532	5.2	0.1	101.0
8月末	10,746	7.4	0.1	101.6
9月末	10,654	6.4	0.2	98.2
10月末	10,704	6.9	0.2	96.3
11月末	11,255	12.4	0.2	99.0
12月末	11,409	14.0	0.2	99.2
(償 還 時) 2021年1月28日	(償還価額) 11,433.45	14.2	0.0	0.0

(注) 騰落率は期首比です。

【設定以来の基準価額等の推移】

第1期首 (設定日)	10,000円
第3期末 (償還日)	11,433円45銭
既払分配金 (税込み)	20円
騰落率	14.6% (分配金再投資ベース)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金の再投資の有無や、ファンドの購入価額により課税条件が異なる場合もあるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の変動要因】

上昇要因

- ① 2019年初めから市場心理が改善し、資金流入に転じたことでスプレッド（国債との利回り格差）が縮小したこと
- ② 2020年4月以降、新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退に対し各国政府、主要中央銀行による前例のない対応策を受けてスプレッドが縮小したこと
- ③ 2020年11月の米国大統領選挙でバイデン氏が勝利したことや、年末頃から新型コロナウイルスのワクチンの接種が一部の国で始まったことで市場心理が改善し、スプレッドが縮小したこと

下落要因

- ① 2018年後半、株式市場の調整などを背景にスプレッドが拡大したこと
- ② 2019年5月に米中貿易交渉が合意に至らず、市場でリスク回避の動きが続いたこと
- ③ 2020年2月下旬から欧州でも新型コロナウイルスの感染が広がり、経済の先行き不透明感を背景に、劣債のスプレッドが大幅に拡大したこと

【投資環境】

＜世界ハイブリッド証券市場＞

設定当初、2018年後半は先進国の経済成長が世界的に減速する中、米中間の貿易摩擦や、英国のEU（欧州連合）離脱問題など地政学的緊張が高まり、グローバルの投資適格債のスプレッド（国債との利回り格差）は拡大しました。2019年は大半の中央銀行が金融政策をタカ派からハト派に転換し、国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。また、世界経済の回復と利回り追求の動きからスプレッドは縮小しました。2020年は第1四半期に新型コロナウイルスの感染拡大が欧米諸国にも広がると、市場に大きな影響を与え、3月にはあらゆるリスク資産価格が大幅に下落し、スプレッドは大幅に拡大しました。こうした中、各国政策当局は金融市場の信頼感を取り戻すために迅速かつ強力な対応をとりました。こうした動きが市場の回復を後押しし、9月までスプレッドは大幅に縮小し、国債利回りは低位で推移しました。その後、新型コロナウイルスの感染再拡大や米国大統領選挙をめぐる不透明感などから一時スプレッドが拡大したものの、11月初めの米国大統領選挙でのバイデン氏の勝利が市場では前向きな材料と捉えられ、スプレッドは再び縮小しました。年末以降は一部の国で新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始されたことで経済活動の正常化への見通しが現実味を帯び、スプレッド縮小の動きが継続しました。国債利回りは、米国新政権による大型の景気対策を受けてやや上昇（債券価格は下落）したものの、引き続き低位にとどまりました。

＜日本短期国債市場＞

設定当初の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.14%前後の低い水準で始まり、2020年3月には、新型コロナウイルス感染拡大の影響や海外勢の買い需要を受けて、利回りは大幅に低下しました。しかしその後、市場の混乱が落ち着き、海外勢の買い需要が後退したことから、利回りは再び上昇に転じ、-0.09%前後の水準で償還日を迎えました。

【ポートフォリオ】

＜当ファンド＞

当ファンドは、世界各国のハイブリッド証券を主要投資対象とする外国籍投資信託「Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンド Q-J2シェアクラス」に投資を行い、インカムゲインの確保と投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。当該投資信託証券への投資比率は高位を維持しました。なお、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。2021年1月8日の分配金込み基準価額が11,510円となり、投資信託約款に定める繰上償還の条件を満たしたため、組入投資信託証券を全売却し、以降は安定運用に切り替えました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンド Q-J2シェアクラス＞

当ファンドは、市場環境に応じて柔軟にポジションを調整しつつも、基本的には劣後債の種類、地域、セクターに関してバランスのとれたポートフォリオを維持しました。2020年の新型コロナウイルスによる危機的な状況では、万が一の流動性問題の発生に備えて十分な現金比率を維持しました。コロナ禍においては、各国政府による強力な財政支援策や、主要中央銀行による金融緩和策が市場の回復を後押しし、それを受けてポートフォリオでは活発な新発債市場などを活用し積極的な投資を行いました。

（アムンディ・UK・リミテッド）

＜CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）＞

設定来、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

第3期は最終期のため、分配は行いませんでした。設定来の分配金額につきましては、後記の「投資信託財産運用総括表」をご覧ください。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

繰上償還にあたり、受益者のみなさまのご愛顧に対し心からお礼申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第3期 (2020年5月26日 ～2021年1月28日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	57円 (10) (44) (2)	0.531% (0.097) (0.411) (0.022)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	2 (0) (1) (1) (1)	0.019 (0.003) (0.005) (0.005) (0.005)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	59	0.550	
期中の平均基準価額は10,740円です。			

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

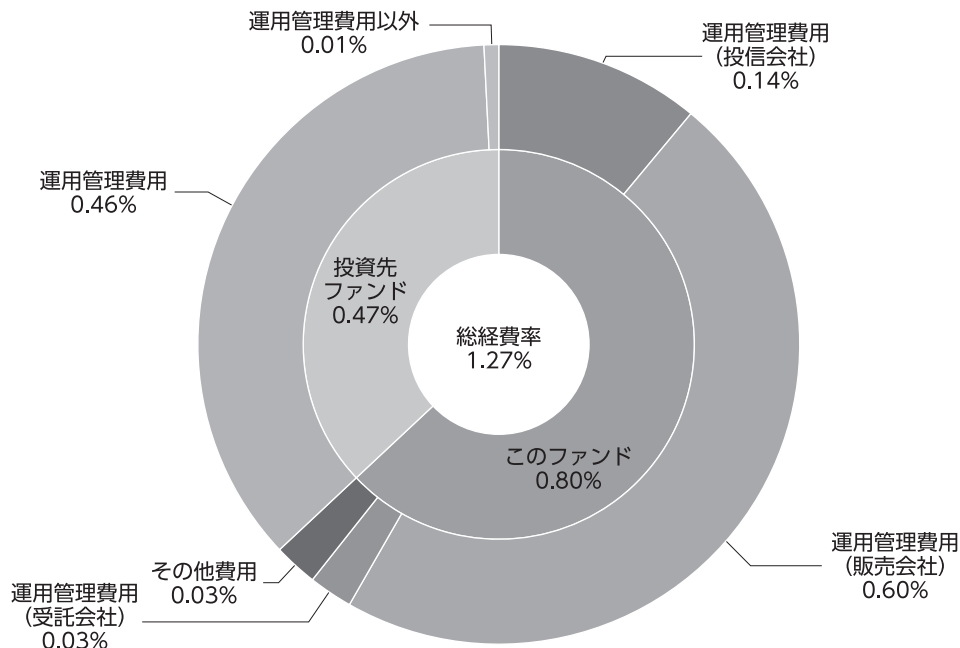
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



総経費率 (①+②+③)	1.27%
①このファンドの費用の比率	0.80%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2020年5月26日から2021年1月28日まで)

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内	CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	口	千円	口	千円
		—	—	3,579,597	3,594
外 国	(ルクセンブルク) Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンドQ-J2シェアクラス	766	千ユーロ 763	22,124	千ユーロ 23,575

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等 (2020年5月26日から2021年1月28日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2021年1月28日現在)

償還日現在、有価証券の組入はありません。

(前期末：2020年5月25日現在)

(1) 国内 (邦貨建) 投資信託受益証券

銘	柄	期首 (前期末)	
		口	数
CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)		口	3,579,597

(2) 外国 (外貨建) 投資証券

銘	柄	期首 (前期末)	
		口	数
(ルクセンブルク) Amundi Funds グローバル・サブオーディネーティッド・ボンドQ-J2シェアクラス		口	21,358

■投資信託財産の構成 (2021年1月28日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 2,177,153	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	2,177,153	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

2021年1月28日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	2,177,153,552円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,177,153,552
(B) 負 債	3,234,818
未 払 信 託 報 酬	3,136,235
未 払 利 息	5,308
そ の 他 未 払 費 用	93,275
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,173,918,734
元 本	1,901,366,948
償 還 差 益 金	272,551,786
(D) 受 益 権 総 口 数	1,901,366,948口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	11,433円45銭

(注記事項)

期首元本額	2,515,285,280円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	613,918,332円

■損益の状況

当期 自2020年5月26日 至2021年1月28日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	82,001,536円
受 取 配 当 金	82,072,994
支 払 利 息	△ 71,458
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	202,062,442
売 買 益	414,356,195
売 買 損	△212,293,753
(C) 信 託 報 酬 等	△ 13,397,459
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	270,666,519
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 6,199,546
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,084,813
(配 当 等 相 当 額)	(△ 6,561)
(売 買 損 益 相 当 額)	(8,091,374)
償 還 差 益 金 (D + E + F)	272,551,786

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年6月29日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年1月28日		資産総額	2,177,153,552円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,234,818円
				純資産総額	2,173,918,734円
受益権口数	1,810,970,426口	1,901,366,948口	90,396,522口	受益権口数	1,901,366,948口
元本額	1,810,970,426円	1,901,366,948円	90,396,522円	1万口当たり償還金	11,433.45円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,748,688,029円	2,819,086,957円	10,256円	10円	0.1000%
第2期	2,515,285,280	2,517,589,629	10,009	10	0.1000

■償還金のお知らせ

償還決算日	2021年1月28日
1万口当たりの償還金（税込み）	11,433円45銭

《お知らせ》

- ・2021年1月8日の分配金込み基準価額が11,510円となり、投資信託約款に定める繰上償還の条件を満たしたため、2021年1月28日をもって信託を終了（繰上償還）いたしました。